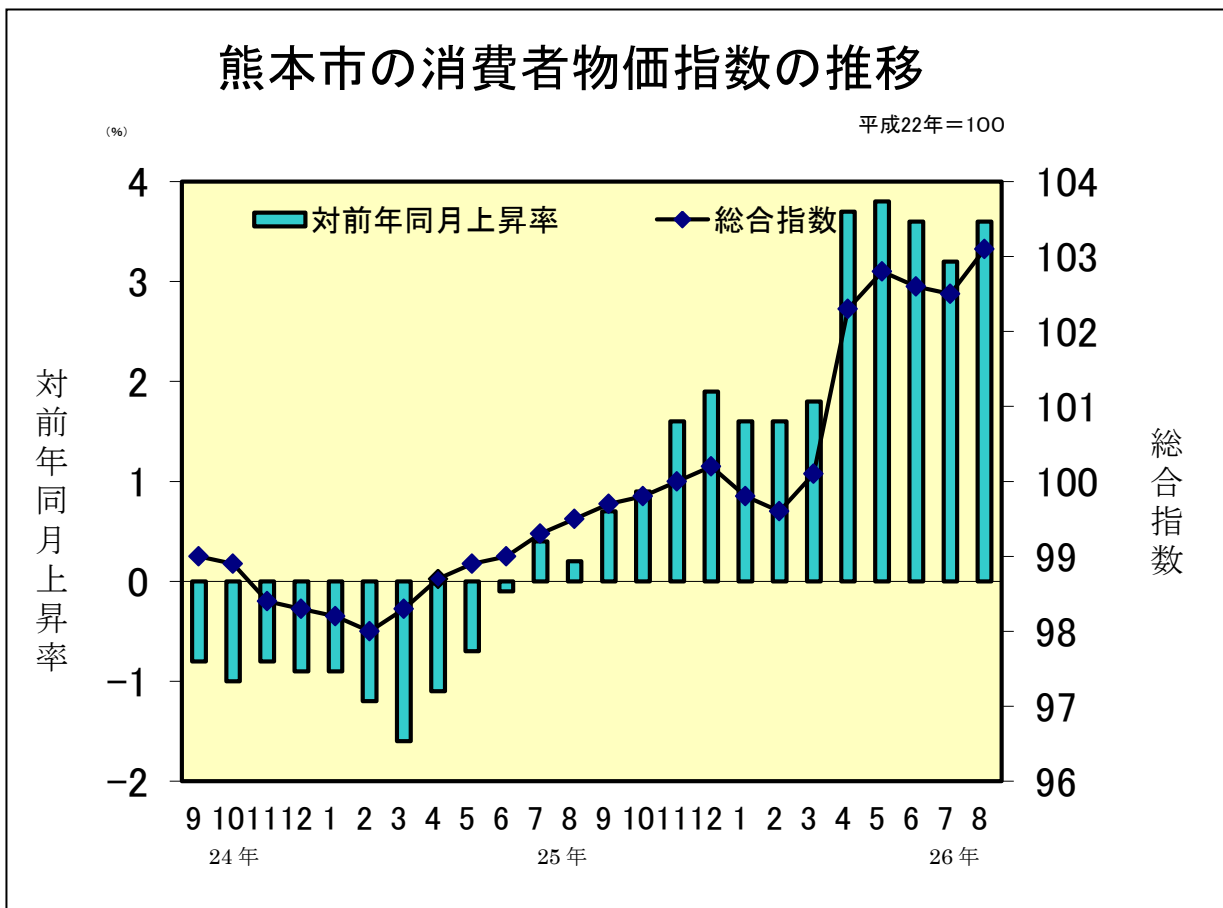


平成22年基準

# 熊本市の 消費者物価指数

平成26年8月分



熊本県統計調査課

### 8月の熊本市の消費者物価指数の動向

総合指数	103.1
前月比	0.6%
前年同月比	3.6%

総合指数は、平成22年を100として103.1となり、前月比は0.6%となった。  
前年同月比でみると、平成26年5月は3.8%、6月は3.6%、7月は3.2%と推移した後、8月は3.6%となった。

なお、生鮮食品を除く総合指数は102.7となり、前月比は0.3%となった。  
前年同月比は、平成26年5月は3.4%、6月は3.2%、7月は3.2%と推移した後、8月は3.3%となった。

また、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は100.3となり、前月比は0.1%となった。

前年同月比は、平成26年5月は2.3%、6月は2.1%、7月は2.1%と推移した後、8月は2.2%となった。

#### ○上昇及び下落した主な項目（寄与度順）

##### （1）前月との比較

###### △上昇した主な項目

野菜・海藻	(+)9.7%
教養娯楽サービス	(+)3.1%
調理食品	(+)3.2%

###### ▽下落した主な項目

家庭用耐久財	(-)4.4%
洋服	(-)2.2%
シャツ・セーター類	(-)4.3%

##### （2）前年同月との比較

###### △上昇した主な項目

調理食品	(+)10.2%
外食	(+)5.7%
自動車等関係費	(+)3.9%

###### ▽下落した主な項目

家賃	(-)0.5%
洋服	(-)1.8%
室内装備品	(-)3.2%
寝具類	(-)7.2%

## 1 前月からの動き

総合指数の前月比は0.6%上昇となった。

10大費目でみると、教養娯楽用耐久財などの「教養娯楽」が2.1%上昇となった。一方、シャツ・セーター類などの「被服及び履物」が1.7%下落となった。

なお、生鮮食品を除く総合指数の前月比は0.3%上昇となった。

また、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数の前月比は0.1%上昇となった。

### ○費目ごとの主な動き

(1) **食料**は104.0となり、前月に比べ1.8%の上昇。

魚介類	4.4%の上昇
肉類	4.4%の上昇
野菜・海藻	9.7%の上昇

(2) **家具・家事用品**は85.6となり、前月に比べ1.3%の下落。

家庭用耐久財	4.4%の下落
寝具類	1.2%の下落
家事雑貨	1.1%の上昇

(3) **被服及び履物**は94.4となり、前月に比べ1.7%の下落。

洋服	2.2%の下落
シャツ・セーター類	4.3%の下落
下着類	0.4%の上昇

(4) **保健医療**は101.1となり、前月に比べ0.7%の下落。

医薬品・健康保持用摂取品	1.3%の下落
保健医療用品・器具	1.2%の下落

(5) **教養娯楽**は100.8となり、前月に比べ2.1%の上昇。

教養娯楽用耐久財	3.2%の上昇
教養娯楽用品	0.1%の下落
教養娯楽サービス	3.1%の上昇

表1 10大費目別対前月上昇率及び寄与度

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合
指数	103.1	104.0	99.2	116.6	85.6	94.4	101.1	107.4	100.9	100.8	108.8	102.7	100.3
上昇率(%)	0.6	1.8	0.0	▲0.1	▲1.3	▲1.7	▲0.7	0.3	0.0	2.1	▲0.3	0.3	0.1
寄与度	0.6	0.46	0.01	▲0.01	▲0.04	▲0.07	▲0.03	0.04	0.00	0.22	▲0.02	0.28	0.10

\* 寄与度は、各品目または各項目の総合指数の上昇率に対する影響度を見るもの

## 2 前年同月との比較

総合指数の前年同月比は3.6%上昇となった。

10大費目でみると、果物などの「食料」が6.6%上昇となった。一方、家賃などの「住居」が0.1%下落となった。

なお、生鮮食品を除く総合指数の前年同月比は3.3%上昇となった。

また、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数の前年同月比は2.2%上昇となった。

### ○費目ごとの主な動き

(1) **食料**は104.0となり、前年同月に比べ6.6%の上昇。

魚介類	9.8%の上昇
果物	14.3%の上昇
調理食品	10.2%の上昇

(2) **光熱・水道**は116.6となり、前年同月に比べ5.3%の上昇。

電気代	5.1%の上昇
ガス代	7.6%の上昇
他の光熱	6.8%の上昇

(3) **交通・通信**は107.4となり、前年同月に比べ3.4%の上昇。

交通	8.4%の上昇
自動車等関係費	3.9%の上昇
通信	0.6%の上昇

(4) **教養娯楽**は100.8となり、前年同月に比べ5.1%の上昇。

教養娯楽用耐久財	13.0%の上昇
教養娯楽用品	7.1%の上昇
教養娯楽サービス	3.4%の上昇

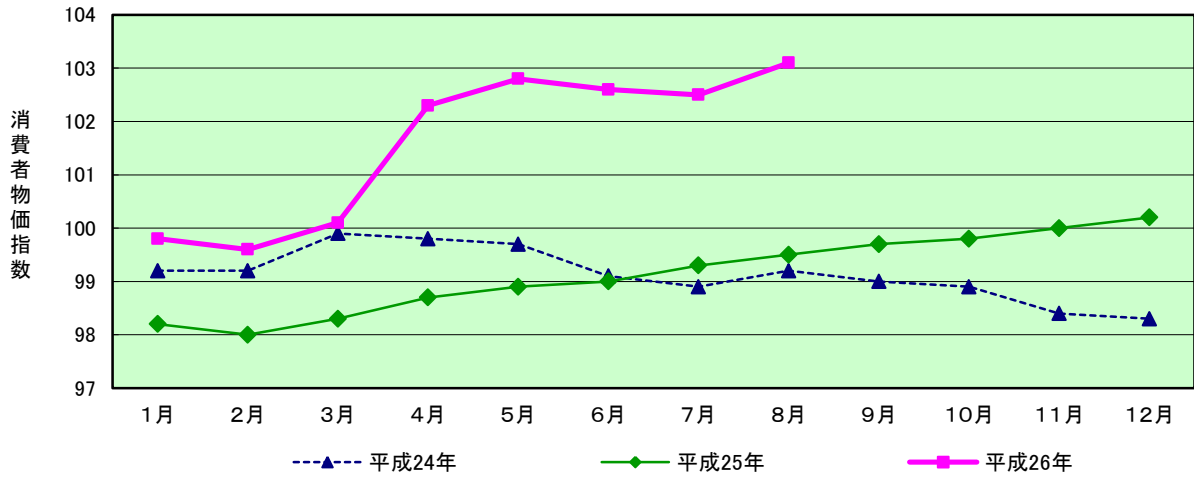
(5) **諸雑費**は108.8となり、前年同月に比べ4.2%の上昇。

身の回り用品	5.7%の上昇
たばこ	4.2%の上昇
他の諸雑費	6.7%の上昇

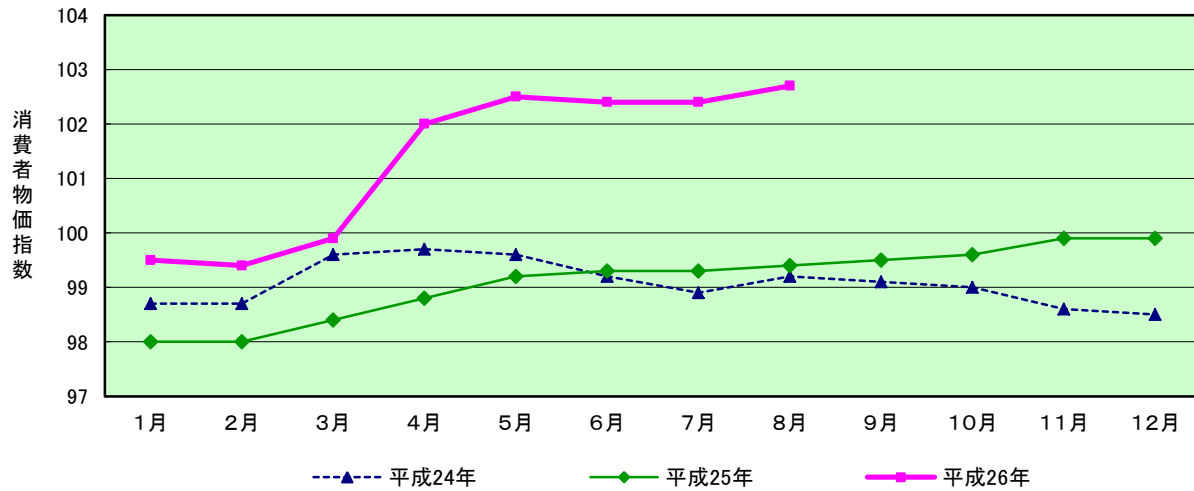
表2 10大費目別対前年同月上昇率及び寄与度

		総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合
対前年同月上昇率(%)	7月	3.2	4.3	▲0.2	5.8	3.1	1.5	1.9	4.3	2.0	4.3	4.5	3.2	2.1
	8月	3.6	6.6	▲0.1	5.3	2.0	2.0	1.3	3.4	2.0	5.1	4.2	3.3	2.2
寄与度	7月	3.2	1.08	▲0.04	0.48	0.09	0.06	0.08	0.61	0.10	0.45	0.29	3.05	1.44
	8月	3.6	1.64	▲0.03	0.44	0.06	0.08	0.06	0.48	0.10	0.53	0.27	3.15	1.45

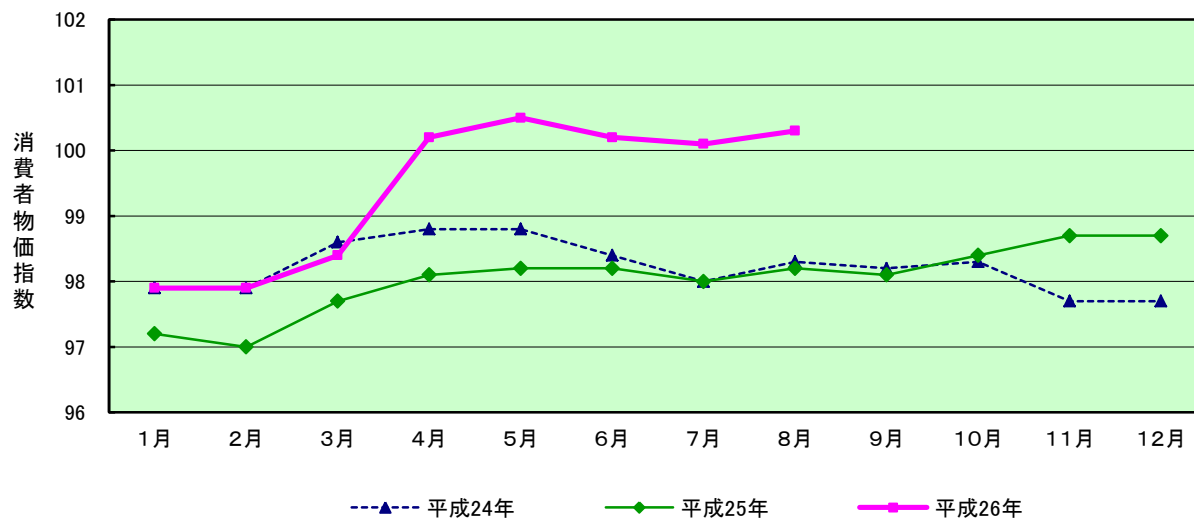
総合指数の推移



生鮮食品を除く総合指数の推移



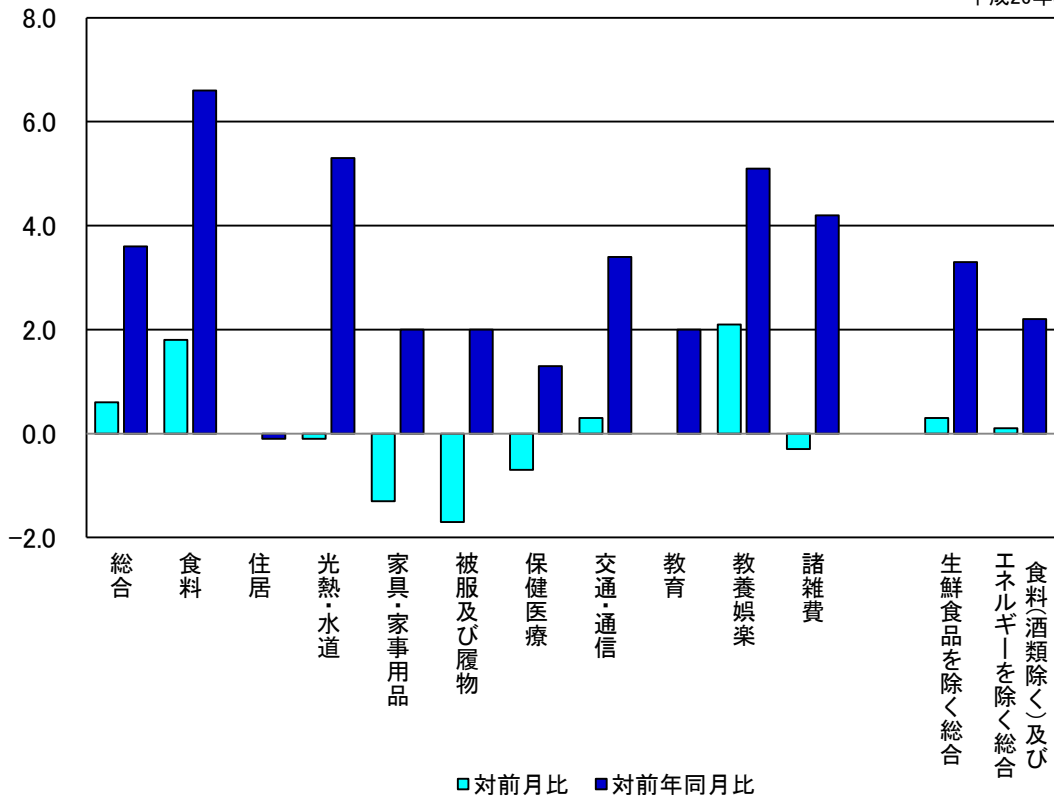
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の推移



### 10大費目別 対前月比 及び 対前年同月比

上昇率(%)

平成26年8月



### 生鮮品目の推移

